

各 位



平成 28 年 2 月 16 日

## MBL

会社名 株式会社 医学生物学研究所  
代表者名 代表取締役社長 山田 公政  
(JASDAQ・コード4557)  
問合せ先 執行役員管理統括本部長 中井 邦彦  
電話番号 052-238-1901

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 4 月 27 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 平成 28 年 3 月期通期業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期連結業績予想の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,086	116	113	87	3.38
今回修正予想 (B)	8,093	△324	△357	△1,200	△46.41
増減額 (B-A)	△993	△440	△470	△1,287	
増減率 (%)	△10.9	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 3 月期)	7,610	△839	△739	△765	△29.62

(2) 連結業績予想修正の理由

連結業績予想につきましては、売上高は、昨年よりも伸長したものの国内外で新規顧客獲得による試薬販売及び受注獲得が想定より伸び悩んだことにより、連結子会社各社の売上が当初予想を下回る見込みとなったことから、前回発表予想を 9 億 93 百万円下回り、80 億 93 百万円となる見通しです。

営業損益は、大型製品の発売による原価低減への寄与やその他原価低減策、経費見直しなどの効果により前期連結実績から大幅に回復する見込みであるものの、売上高が当初見込みに達しなかったことから、前回発表予想を 4 億 40 百万円下回り、3 億 24 百万円の営業損失となる見通しです。

経常損益は、上述の理由から、前回発表予想を 4 億 70 百万円下回り、3 億 57 百万円の経常損失となる見通しです。

これらの要因に加え、本日併せて公表いたしました「特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の特別損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損益は、前回発表予想を 12 億 87 百万円下回り、12 億円の親会社株主に帰属する当期純損失となる見通しです。

(3) 平成 28 年 3 月期通期個別業績予想の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,802	110	94	3.64
今回修正予想 (B)	6,585	10	△1,180	△45.64
増減額 (B-A)	△217	△100	△1,274	
増減率 (%)	△3.2	△90.9	—	
(参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	6,128	△452	△471	△18.22

(4) 個別業績予想修正の理由

個別業績予想につきましては、売上高は、新発売したがん関連検査試薬や主力の自己免疫疾患検査試薬が売上増に貢献したものの、受託による試薬等の売上が当初予想を下回る見込みであることから、前回発表予想を 2 億 17 百万円下回り、65 億 85 百万円となる見通しです。

経常損益は、大型製品の発売に伴う原価低減への寄与やその他原価低減策、経費見直しなどの効果により、前期実績から大幅に回復する見込みであるものの、売上高が当初見込みに達しなかったことなどから、前回発表予想を 1 億円下回り、10 百万円の経常利益となる見通しです。

これらに加えて、本日併せて公表いたしました「特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の特別利益及び特別損失を計上したことから、当期純損益は、前回発表予想を 12 億 74 百万円下回り、11 億 80 百万円の当期純損失となる見通しです。

※本資料に掲載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上